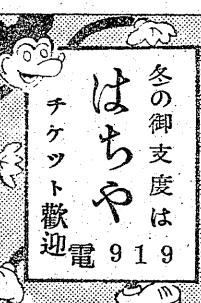




磐城日報  
新社  
福島縣磐城市渚廻51  
電話 387番  
編集兼發行人 比佐不二夫



## 泉田問題は調査委で

水産高校の敷地買収などを決定

## 磐城市議會全員協議會

既報、磐城市議會全員協議會は30日午後一時半、市役所會議室に開かれ、立花市長から磐城市財政現況の困難を強く訴って、全議員、全市民の協力による市政發展を要請し、「税外收入未納整理協力方について」他四案件を協議、午後四時過ぎ散会した。

「税外收入未納金」の整理については別項の「磐城市財政狀況調」を發表し、窮状を訴えその対策としては舊小名浜地区議員が中心に取り整理に協力する事になり、二号協議案「警察庁舎物建設費附」について

## 市政赤字實に六千万

### 破局一步手前の危機にひんす

して一六六万七千二百圓は状勢も變り、現状維持を立花市長兼任となつてゐる。仰ごうとしている。希む反分割意見者も相當に磐城福祉事務所長に立花市問題の県田部落分割についており、失政によつて鹿島三郎は十月三十日付同所次長は十日以内に合併頭初部落のチックを踏ませる事は、前所長村上一郎氏を昇格は部落民の意志として合併當を得ないといし、渡辺地区令が申合わされた。

府舎建設の詳細について

説明が行われ、地元負擔金

五〇万八百圓支出、一般寄

附一六六萬七千二百圓の懇

請についても市議会全員の協力によつて建策を促進する事が申合わされた。

府舎建設は本府舎一七七

八五坪、車庫二九、自

轉車置場一八、などの他

什器、水道、照明工事など

總計一〇〇八万、三千

收支計算表に見ると(單は九月三十日現在では收入、内訳は五九一万五千位千圓)市費は收入高六五、一三〇六九三に対し一四一、四七七に支出六〇三〇、同五〇七と實に一〇八一万四千圓、協賛費四一六万八千圓で協賛費中一般負擔は各地區別に世話を設け小名浜四〇万、江名一八万、泉一〇萬玉川五万、渡辺四萬、鹿島三万と各地区に八〇萬を見込み、特殊寄附九〇万圓を豫定

についても市議会全員の協力によつて建策を促進する事が申合わされた。

府舎建設は本府舎一七七

八五坪

